

昔の中国の知恵

孫子の兵法

「孫子の兵法」ってどんな本？

昔の中国で書かれた、考え方の本

自分で考えて書きましょう。わからないときは、QRコードで動画の場面を見よう。

- ① 『孫子』に書かれている考え方として合うものは、「おこったらすぐ決める」「前もって準備をする」「相手のことは調べない」のどれですか。



動画で見る
場面 5
「どうして今も読まれるの？」

- ② 『孫子』が書かれたのは、どこの国ですか。「日本」「ギリシャ」「中国」から選びましょう。



動画で見る
場面 2
「諸子百家」

- ③ 今に伝わる『孫子』は、いくつのまとまり(篇)でできていますか。



動画で見る
場面 4
「篇の数」

「孫子の兵法」ってどんな本？

昔の中国で書かれた、考え方の本

- ① 『孫子』に書かれている考え方として合うものは、「おこったらすぐ決める」「前もって準備をする」「相手のことは調べない」のどれですか。

ヒント 『孫子』は、気持ちにまかせず、よく考えてから動くことを大切にしています。

答え 「前もって準備をする」です。『孫子』には、前もって準備をする、相手と自分をよく知る、おこったまま決めない、といった考え方が書かれています。

- ② 『孫子』が書かれたのは、どこの国ですか。「日本」「ギリシャ」「中国」から選びましょう。

ヒント 孔子や老子と同じころの、同じ国の人です。

答え 「中国」です。『孫子』は、昔の中国の人、孫武が書いたとされる本です。

- ③ 今に伝わる『孫子』は、いくつのまとまり(篇)でできていますか。

ヒント 動画で、竹の札のたばが左から一つずつならんだ場面を思い出しましょう。

答え 13の篇でできています。昔の歴史の本にも、王が孫武の13篇を読んだと書かれています。